

全国学力・学習状況調査

平均正答率	国語	算数
市	59.0	56.0
県	63.0	58.0
全国	60.9	56.4

観点別 平均正答率		国語		算数	
		知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
正答率	市	62.4	56.8	58.7	46.1
	県	64.5	61.2	61.1	48.3
	全国	62.0	60.1	60.1	45.4

国 語

1. 問題別の結果:県平均を下回っているもの

①- 二 (1) ≪【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する≫

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

【市 53.4% 県 61.2% 全国 60.2%】

(1) 同野さんたちのグループは、「動画の一部」をくふうしてさつえいしました。そのくふうとして適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 草花で遊ぶ場所への行き方を映像で示すことで、草花遊びへの関心を高めている。
- 2 くき笛の実際の音を示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容が伝わるようにしている。
- 3 くき笛を作る映像に文字の説明を加えて示すことで、遊び方の手順が伝わるようにしている。
- 4 くき笛の長さを映像で比べて示すことで、くき笛にしやすいたんぼを見分けやすくしている。
- 5 手元や口元を大きく映して映像で示すことで、くき笛の遊び方が伝わるようにしている。

【動画の一部】

映像	音声
	同野・水谷「音を鳴らして遊ぼう。」
	同野「みなさん、この音を聞いてください。」 『ピー♪(くき笛の音)』
	同野「これは何の音だと思いますか。」 水谷「これはたんぼで作ったくき笛の音です。」 同野「どうしたらこんな音が出るんですか。」
	水谷「くき笛は、たんぼの花の部分を取りのぞいて」
	水谷「片方のくきの先をつぶして作ります。」
	水谷「つぶした方をくちびるでくわえ、風船をふくらませるように息をふきこむ。」 『ピー♪(くき笛の音)』
	水谷「このように音を出すことができます。」 水谷「くき笛の長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」
	『ピー♪(くき笛の音)』『ポー♪(くき笛の音)』 同野「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」

小国 - 4

〔正答〕 2・5 と解答しているもの 53.4% (県 61.2% 全国 60.2%)
 2 と解答しているが、5 と解答していないもの 19.9% (県 17.0% 全国 18.2%)
 5 と解答しているが、2 と解答していないもの 22.4% (県 18.8% 全国 17.8%)
 上記以外の解答 4.3% (県 2.8% 全国 3.3%)

②- 一「花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する」
 筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる
 【市 41.6% 県 54.9% 全国 57.9%】

○ 4 複数の事例の長所と短所を比べて書いている。

3 疑問と調べて分かったこと、次の疑問をくり返して書いている。

2 結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いている。

1 調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いている。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに
 夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアムジかい方がすずしいのではないかな。なぜ、長そでの服を着ているのか、ふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることになった。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか
 「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにははだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直して日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。
 では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか
 「熱中しょうかん環境健康マニュアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。
 では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。



〈図〉

② 花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことになりました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の「花山さんの文章の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

〔正答〕 3 と解答しているもの 41.6% (県 54.9% 全国 57.9%)
 1 と解答しているもの 36.6% (県 26.8% 全国 25.2%)
 2 と解答しているもの 12.4% (県 11.0% 全国 9.4%)
 4 と解答しているもの 9.3% (県 7.0% 全国 6.4%)

2. 分析結果と改善方策

○【文章】を読んで考えたことを自分の経験と結び付けてまとめて書く問題では正答率が県、全国平均を上回っている。さらに無解答率も県を約 5 ポイント、全国を 10 ポイント下回っている。

●選択肢の読み取り、理解に課題。

- ①-二 選択肢の前半部分を、【動画の一部】と照らし合わせながら読む必要性がある。
- ②-一 選択肢1の誤答が多いことから、丁寧な読み取りができていない。

改善策: 資料と文章とを結びつけながら読む指導が必要。

算 数

1. 問題別の結果:県平均を下回っているもの

□1— (3) ≪1立方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く≫

体積の意味について理解しているかどうかをみる。

【市 27.3% 県 38.0% 全国 40.1%】

(3) 1 cm³ の立方体が 36 個あります。36 個をすべて使って、高さが 4 cm の直方体を 1 つ作りました。

その直方体の体積は何 cm³ ですか。

答えを書きましょう。

〔正答〕 36 と解答しているもの	27.3%	(県 38.0%	全国 40.1%)
144 と解答しているもの	16.8%	(県 22.5%	全国 20.0%)
9 と解答しているもの	20.5%	(県 17.8%	全国 14.3%)
4 と解答しているもの	3.7%	(県 1.5%	全国 1.4%)
36, 144, 4 以外で 4 の倍数を解答しているもの	20.5%	(県 13.4%	全国 15.1%)
上記以外の解答	8.7%	(県 3.9%	全国 14.9%)

□3— (4) ≪5/3を表す目盛りが示された数直線上で、1を表す目盛りを選ぶ≫

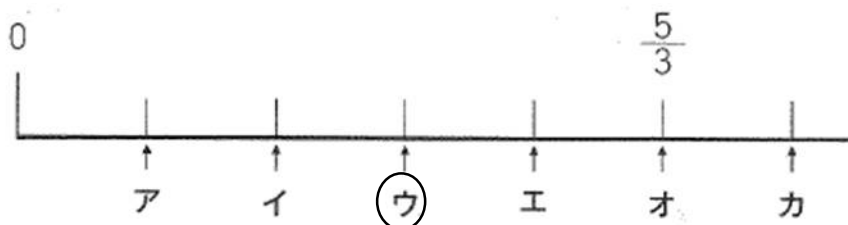
単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる

【市 65.2% 県 73.4% 全国 68.1%】

(4) 次の数直線で オ の目もりは $\frac{5}{3}$ です。

1 を表す目もりはどこですか。

下の ア から カ までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。



〔正答〕ウと解答しているもの	65.2%	(県 73.4%	全国 68.1%)
アと解答しているもの	18.0%	(県 13.3%	全国 15.6%)
イと解答しているもの	8.1%	(県 5.6%	全国 6.6%)
エと解答しているもの	2.5%	(県 1.4%	全国 1.4%)
オと解答しているもの	0.6%	(県 0.9%	全国 1.0%)
カと解答しているもの	5.0%	(県 3.3%	全国 3.9%)
上記以外の解答	0.6%	(県 0.3%	全国 0.6%)

2. 分析結果と改善方策

○指定された3つの数字で一番大きい小数を作る問題では、98.8%で県を 3.2 ポイント、全国を 4.3%上回っている。

● 体積や数直線の意味の理解が不十分。

①-(3) 1cm^3 の立方体を 36 個使う図形の体積は 36cm^3 になるということがイメージできていないまま、公式等に当てはめて考えようとしている。

③-(4) 問われている1と単位分数の意味が混同している。

改善策:量感や図形のイメージ等を体感するために、下学年での十分な経験や操作活動が必要。

中学3年生

全国学力・学習状況調査

平均正答率	国語	数学
市	65.0	55.0
県	64.0	55.0
全国	63.9	57.0

観点別 平均正答率		国語		数学	
		知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
正答率	市	65.1	65.3	61.4	34.6
	県	63.3	63.7	61.0	36.5
	全国	64.2	63.7	63.0	39.1

国語

1. 問題別の結果:正答率60%を下回っているもの

- ②—四「話し合いを受けてどのような意見を述べるか、**自分の考えを書く**」

【市57.8% 県53.5% 全国52.7%】

- ③—一「文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する」

【市48.9% 県45.4% 全国39.8%】

- ③—四「書いた文章について、交流を基にして、**「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く**」

【市43.7% 県45.9% 全国45.0%】

- ④—二「国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す」

【市34.8% 県33.0% 全国35.2%】

2. 分析結果と改善方策

○「思考力、判断力、表現力等」の「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」のどの領域でも県、全国の平均正答率を超えているとともに、「記述式」の問題の平均正答率も超えている。生徒の国語力が定着している様子が伺える。

●「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」の領域のみ、県・全国の平均正答率を下回った。情報を整理することや、情報と情報との関係を読み取る力を身に付ける必要がある。**授業における「まとめ」や「振り返り」で、生徒の思考や授業でわかったことを整理したり関連付けたりする活動を行うことが必要である。**

二 林さんは、「ほうふつとさせる」を正確に理解するために、「ほうふつ」を国語辞典で調べました。次の国語辞典に載っていた意味を読んで、④の空欄に「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現がいくつかあることを付けました。

【国語辞典に載っていた意味】

ほうふつ【彷彿】①はっきりと脳裏に思い浮かぶこと。よく似ていること。②おぼろげなさま。はっきりしないさま。

三 林さんは、本文に書かれている会話の表情を表す擬音語・擬態語の語数を、次のようにまとめています。次の⑤に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

会話の表情を表す擬音語・擬態語は、 である。

1 声に出して言った言葉を文字にして正確に伝える

2 実際に話した内容を整理しながら筋立てて伝える

3 口調や話しかけ方などの様子を言葉でまとめて表す

4 声の大きさなど話し方の要素の一つを他の要素と区別して表す

数 学

1. 問題別の結果

(1) 県平均より 3 ポイント以上低い項目

- ③≪四角形 PQRS において、PS 平行 QR を示すための根拠となる 2 つの角を書く≫
【市 30.4% 県 41.6% 全国 49.1%】
- ⑤≪大小 2 つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が 6 で小さいさいころの目が 1 である確率を求める≫
【市 52.6% 県 57.2% 全国 60.2%】
- ⑥—(3) ≪手順にしたがってできた A と B について、 $A - B$ の値がどんな数になるかを、選んだ 2 数の差に注目して説明する≫
【市 38.5% 県 42.3% 全国 44.6%】
- ⑦—(2) ≪データ量が 1000 MB になるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する≫
【市 28.9% 県 32.5% 全国 33.9%】
- ⑧—(1) ≪ $\angle AOB$ の大きさが a° のとき、 $\angle POB$ の大きさを a を用いた式で書く≫
【市 55.6% 県 58.9% 全国 62.5%】
- ⑧—(2) ≪図 1 において、 $AB = AP$ 、 $OB = OP$ ならば $\angle AOB = \angle AOP$ であることを、三角形の合同を基にして証明する≫
【市 32.6% 県 37.9% 全国 46.1%】

(2) 無解答率が 20% 以上の項目

- ⑥—(3) ≪手順にしたがってできた A と B について、 $A - B$ の値がどんな数になるかを、選んだ 2 数の差に注目して説明する≫
【(無回答率) 市 22.2% 県 29.3% 全国 26.5%】
- ⑦—(2) ≪データ量が 1000 MB になるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する≫
【(無回答率) 市 44.4% 県 43.4% 全国 39.6%】
- ⑧—(2) ≪図 1 において、 $AB = AP$ 、 $OB = OP$ ならば $\angle AOB = \angle AOP$ であることを、三角形の合同を基にして証明する≫
【(無回答率) 市 28.1% 県 26.0% 全国 22.2%】
- ⑨—(3) ≪「就寝時間が 23 時より前の生徒と比べて、23 時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する≫
【(無回答率) 市 27.4% 県 32.3% 全国 28.9%】

2. 分析結果と改善方策

- これまで課題のあった「データの活用」の単元において、基礎基本の定着がなされている。
- 「データの活用」の単元における説明については、正答率は県、全国の平均正答率が大幅に高く、無回答率も県、全国よりも下回っている。これは、「データの活用」の基礎基本の定着がなされているとともに、どのように解答すればよいか、生徒が見通しをもって取り組むことができていることが考えられる。
- 数学において、図形の単元の基礎基本の定着が十分でないといえる。
- 日常生活の課題を解決する問題において、自分の考えを書いたり、説明したり、証明したりすることに課題がある。今後は、各単元において、単元構想を練ったうえで、身近な問題を取り上げて授業を展開させていくとともに、生徒が書いたまとめや説明が正しく書けているのか教師が最後まで見取りをし、できていなければ、どのように書けばよいかの指導を加える。

中学3年

	IRT スコア	聞くこと	読む書くこと	話すこと
市	4 8 1	0. 9 / 2	2. 2 / 5	0. 7 / 2
県	4 8 3	1. 1 / 2	2. 5 / 5	0. 6 / 2
全国	4 9 9	1. 2 / 2	2. 6 / 5	0. 7 / 2

1. 領域別の結果

(1) 聞くこと

全国比	観点	問題の概要	問題の趣旨
▲ -5.1	知識・技能	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか
○ +7.5	思考判断表現	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるか
○ +16.9	思考判断表現	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるか
○ +1.7	思考判断表現	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるか
▲ -21	思考判断表現	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるか

(2) 読むこと

全国比	観点	問題の概要	問題の趣旨
▲ -2.6	知識・技能	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか
▲ -1.9	思考判断表現	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる
○ +5.2	思考判断表現	友達のメッセージを読み、相手が示した条件に	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるか

		合うウェブサイトを選択	るか
▲ -13	思考判断表現	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるか
▲ -15	思考判断表現	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうか

(3) 書くこと

全国比	観点	問題の概要	問題の趣旨
▲ -2.1	思考判断表現	インターネットの使用に関して読んだことを、考えとその理由を書く	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるか
▲ -13.3	知識・技能	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか
▲ -1.2	知識・技能	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか
▲ -5.5	思考判断表現	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるか
▲ -3.5	思考判断表現	留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるか
▲ -5.1	思考判断表現	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるか

(3) 話すこと

全国比	観点	問題の概要	問題の趣旨
▲ 3.4	知識・技能	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に明日の天気を伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる
▲ -17.1	知識・技能	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生からの質問を聞き、明日しようと思って	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる

		いることを伝える	
▲ -10.7	知識・技能	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生からの質問を聞き、明日しようと思っ ていることを伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる
▲ -15.4	思考判断表現	留学生と一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる
▲ -2.3	思考判断表現	自分の好きな人物を1人取り上げ、好きな理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる
▲ -2.0	思考判断表現	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を1つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる
▲ -4.9	思考判断表現	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す

2. 改善方策について

- (1) **聞く・読むことの領域では、話の概要や要点を捉える力の育成に課題がある。**
物語文や説明文等の構造について理解し、概要を整理したり、要点を把握する聞き方・読み方を指導していく。
- (2) **書くことの領域では、語彙や語順等の基礎基本の定着が課題である。**「みんなの学習クラブ」を、授業での練習や既習事項の振り返り、家庭学習における復習での課題といった様々な場面で活用し、書く力の向上につなげる。
- (3) **話すことの領域では、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の定着が課題である。**
基本文や教科書の英文を授業や家庭学習等で繰り返し音読することで知識を定着させ、それらの知識を関連付けて活用できる力を養う。

「学校質問調査」及び「児童生徒質問調査」の結果

視点	学校質問調査	校種	豊後高田市	全国	市ー全国
授業改善	学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えをしっかりと伝えられていると思う	小学校	100	87.8	12.2
		中学校	83.3	89.4	-6.1
	自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、話しの組立て等を工夫して発表していると思う	小学校	90.1	78.9	11.2
		中学校	100	81.4	18.6
視点	児童生徒質問調査	校種	豊後高田市	全国	市ー全国
授業改善	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	小学校	87.6	85.7	1.9
		中学校	81.6	87	-5.4
	自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、話しの組立て等を工夫して発表していた	小学校	64.6	66.4	-1.8
		中学校	58.1	65.5	-7.4
国語	国語の勉強は好き	小学校	60.2	57.4	2.8
		中学校	64	57.2	6.8
	授業の内容はよくわかる	小学校	82	81.5	0.5
		中学校	87.5	76.8	10.7
	学習の上手くできていない所はどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるか教えてくれる	小学校	91.3	75.1	16.2
		中学校	79.4	71.8	7.6
算数・数学	算数・数学の勉強は好き	小学校	65.2	57.6	7.6
		中学校	43.4	56.1	-12.7
	授業の内容はよくわかる	小学校	87	77.5	9.5
		中学校	58	74.2	-16.2
	普段の生活中で活用できている	小学校	84.5	83.2	1.3
		中学校	78	63	15
	わからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	小学校	88.2	81.7	6.5
		中学校	61.8	77.8	-16
	どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている	小学校	73.3	63	10.3
		中学校	53	60.4	-7.4
英語	英語の勉強は好き	小学校	73.3	66.7	6.6
		中学校	46.3	51.2	-4.9
	授業の内容はよくわかる	小学校			
		中学校	58.9	64.2	-5.3
	学習したことは将来、社会に出たときに役立つ	小学校			
		中学校	86.8	87.6	-0.8
	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい	小学校	46	45.4	0.6
		中学校	25.8	34.1	-8.3
	キーボードを使って英語を書くことができる	小学校			
		中学校	64	76.7	-12.7
	家庭学習の宿題として、ICT機器を使用して、英語の音声を読んだり英語を話す練習をしたりしている	小学校	12.5	29.7	-17.2
		中学校	27.2	24.5	2.7
家庭学習	学校の授業時間以外に、平日1時間以上（小学校）、2時間以上（中学校）勉強する	小学校	34.1	49.9	-15.8
		中学校	21.3	30.1	-8.8
	学校の授業時間以外に、休日1時間以上（小学校）、2時間以上（中学校）勉強する	小学校	27.9	39	-11.1
		中学校	25.7	29.9	-4.2